

産業機械特集号の発刊にあたって

執行役員

産業・ロジスティックスセクター長 川 崎 義 則

IHI 技報「産業機械特集号」の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

お客さまを訪問し、工場や設備を見学させていただいた際、お客さま自身が「マイ・マシン」として IHI 製品の話がされることがあります。我々の製品は、納入後にお客さまのマイ・マシンとなりますが、自家用のマイ・カーと同じようにマイ・マシンを磨き上げ、愛着をもって使用されている話を伺うと、とても誇らしく思います。また、開所式などで祝辞を述べられたご来賓の方からも、産業振興における IHI の貢献に対する称賛と、引き続きの技術革新への期待の言葉をいただくことがあり、IHI グループの歴史や実績は、我々が感じていた以上に多くのお客さまの記憶に焼き付いているようです。



IHI は創業から 163 年が経過しました。今、我々が未来に向け創っていくべき製品・サービスは、お客さまの視点で物事を考え、お客さまのニーズとこれまで培った多くの経験を融合したさらなる「強みのある製品・サービス」です。それを実現するためには、自らビジネスモデルの変革や、ポートフォリオの組み替えを行うなど、社会の変化に自らも進化して、追従していく必要があります。技術をもって社会の発展に貢献する企業集団・IHI グループとして、社会（お客さま）が IHI に期待されている企業活動が何であるかをしっかりと認識して次の時代へ歩んでいきたいと考えます。

今回の IHI 技報は産業機械特集を組みました。アメリカの Industrial Internet Consortium やドイツの Industrie 4.0 などの取り組みに表れているように、現在の産業機械は広い意味の ICT (Information and Communication Technology) によって、より高度な価値を我々に提供するようになりました。長らく蓄積されたベテランのノウハウをさも自身のもののように活用したり、一見関連のない大量のデータをリアルタイムに分析して最適な運用を実現したりすることが、ごく普通にできるようになっています。IHI グループが提供する産業機械は、伝統的な製品・サービスが中心ですが、時代が求める新しい ICT を活用することで、お客さまへ高い付加価値を提供していきます。本号をとおして、IHI グループ製品の進化し続ける姿をご覧いただきたいと思えます。